

3 資料編

(1) データ集

表1 温室効果ガス排出状況(排出係数変動版)で使用する排出係数【本編5ページ】

年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29
係数	0.384	0.375	0.464	0.525	0.531	0.505	0.500	0.486	0.475

kg-CO₂/kWh

※上表の係数は環境省が発表している電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)の東京電力エナジーパートナー(平成26年度以前は東京電力)の実排出係数を引用しています。

図1 意識調査の回答数と「省エネを実践している」と回答した方の割合(年度別)【本編16ページ】

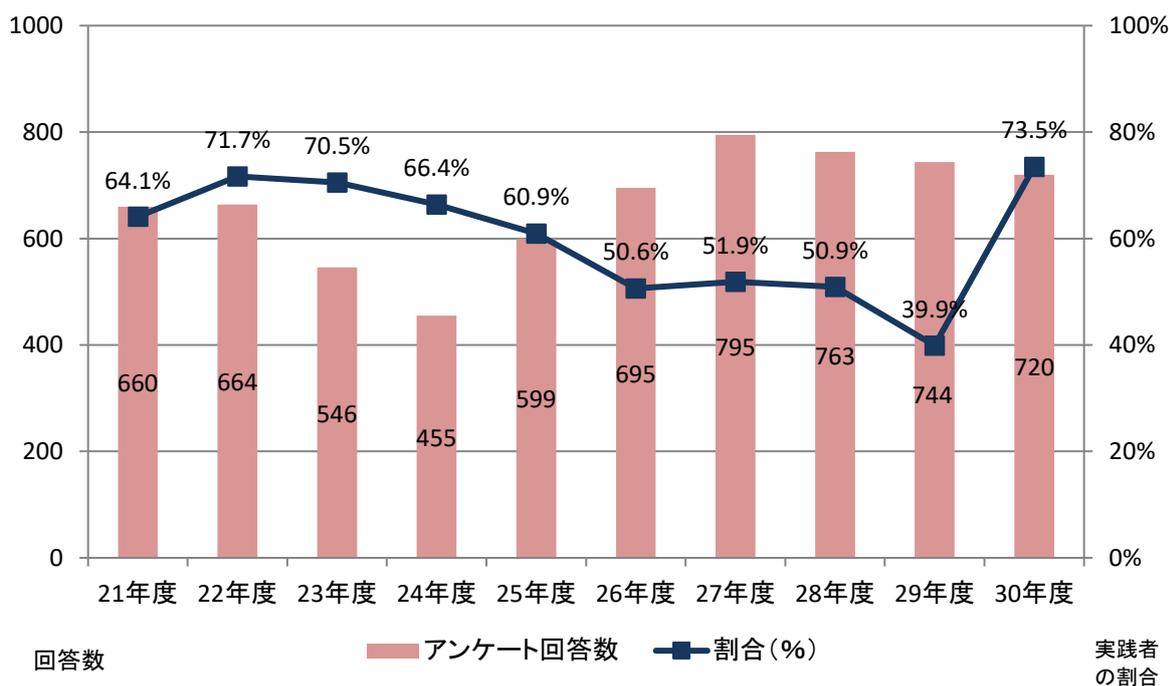
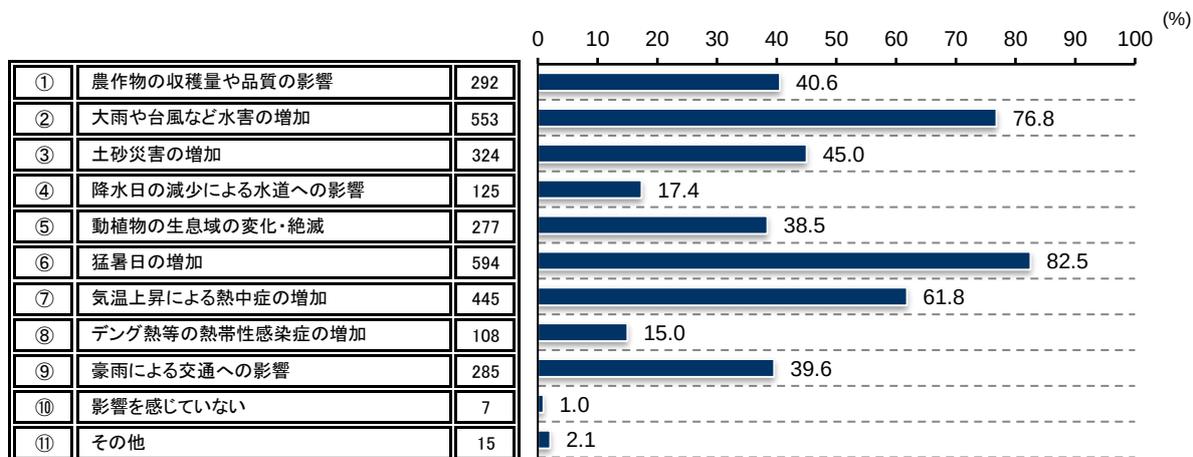


図2 気候変動への影響(市民アンケート結果より抜粋)【本編16ページ】

あなたの身の周りでのどのような地球温暖化の影響を感じますか。当てはまるもの全てを選び番号を○で囲んでください。(複数選択可)(n=720)

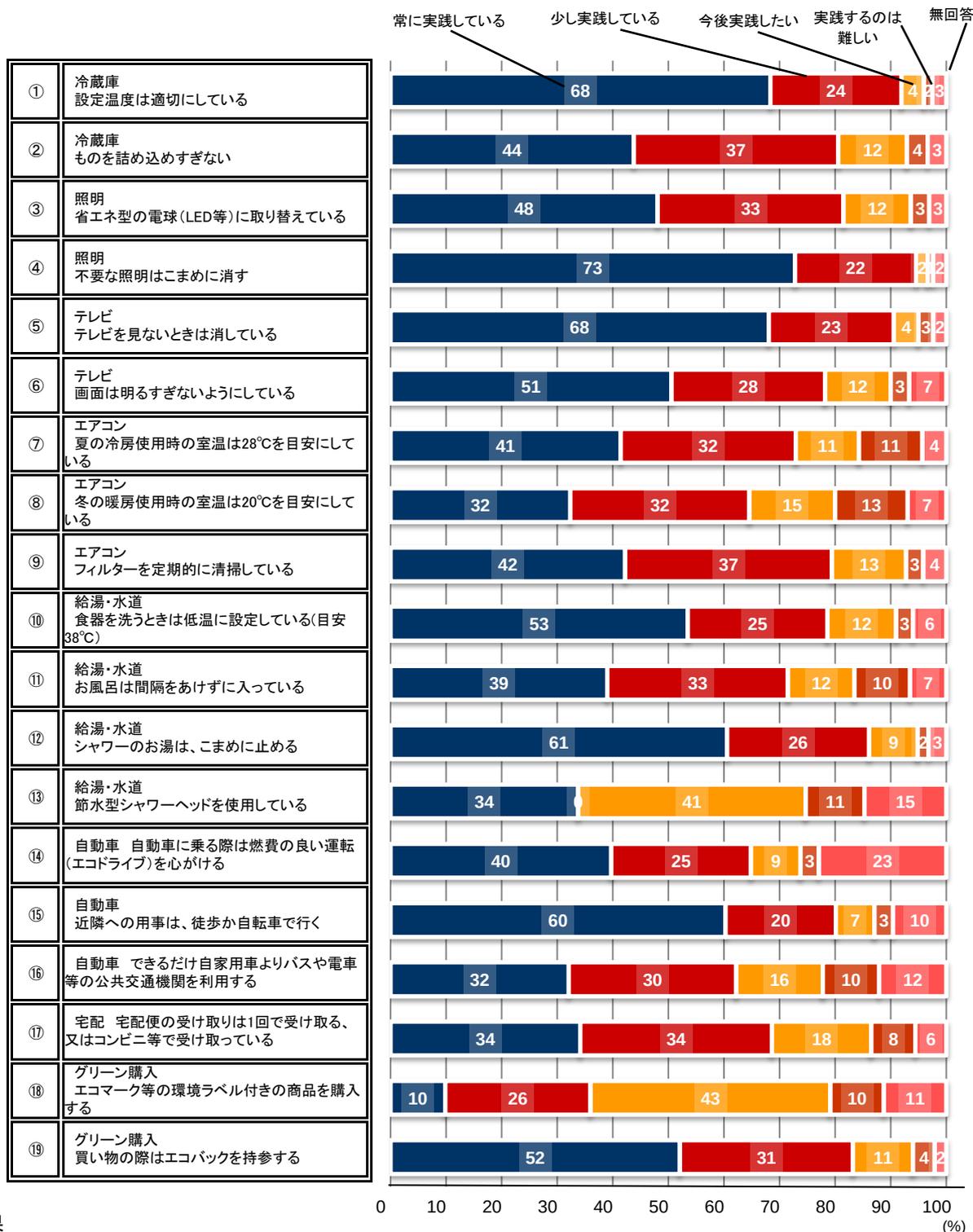


(その他の一部を紹介します)

- ・ 砂浜の減少
- ・ 春と秋が短い、夏と冬が長い
- ・ 気象の変化
- ・ 海流や海水温度変化により魚の住む地域が変化、種類が変化していること

図3 家庭内での省エネに取り組み(市民アンケート結果より抜粋)【本編17ページ】

家庭内での省エネルギー・地球温暖化防止のための取り組み状況について、最も近い番号を1つ選び○で囲んでください。なお、当てはまらない取り組み内容は、記入不要です。(単一選択)(n=720)



結果

「常々実践している」「少し実践している」の回答が多かった項目は、「【照明】不明な照明をこまめに消す(94.6%)」、「【冷蔵庫】設定温度は適切にしている(91.9%)」、「【テレビ】テレビを見ないときは消している(90.6%)」、「【給湯・水道】シャワーのお湯は、こまめに止める(86.1%)」、「【グリーン購入】買い物の際はエコバックを持参する(83.2%)」であった。

「常々実践している」「少し実践している」の回答が少なかった項目は、「【給湯・水道】節水型シャワーヘッドを使用している(33.8%)」、「【グリーン購入】エコマーク等の環境ラベル付きの商品を購入する(36.0%)」、「【自動車】できるだけ自家用車よりバスや電車等の公共交通機関を利用する(62.2%)」、「【エアコン】冬の暖房使用時の室温は20℃を目安にしている(64.6%)」、「【自動車】自動車に乗る際は燃費の良い運転(エコドライブ)を心がける(64.9%)」であった。

図4 省エネに取り組むのが難しい理由(市民アンケート結果より抜粋)【本編17ページ】

「実践するのは難しい」とお答えいただいた方は、省エネルギーに取り組めない理由として最も当てはまるものを、下欄から選び記入してください。

項目	手間がかかる	コストがかかる	省エネ効果が分からない	生活の快適さが損なわれる	忘れてしまう	特に理由は無い	回答数
① 設定温度は適切にしている	3	2	1	0	1	1	8
② ものを詰め込みすぎない	5	4	2	3	0	2	16
③ 省エネ型の電球(LED等)に取り替えている	3	14	2	1	0	1	21
④ 不要な照明はこまめに消す	2	3	1	0	2	0	8
⑤ テレビを見ないときは消している	2	1	2	5	3	1	14
⑥ 画面は明るすぎないようにしている	4	3	2	4	2	3	18
⑦ 夏の冷房使用時の室温は28℃を目安にしている	0	2	2	62	1	0	67
⑧ 冬の暖房使用時の室温は20℃を目安にしている	0	4	2	64	0	0	70
⑨ フィルターを定期的に清掃している	8	3	3	3	1	0	18
⑩ 給湯・食器を洗うときは低温に設定している(目安38℃)	2	2	2	6	1	3	16
⑪ お風呂は間隔をあげずに入っている	4	0	2	26	0	5	37
⑫ シャワーのお湯は、こまめに止める	3	1	2	8	4	3	21
⑬ 節水型シャワーヘッドを使用している	5	26	3	10	1	10	55
⑭ 自動車に乗る際は燃費の良い運転(エコドライブ)を心がける	5	4	2	4	1	4	20
⑮ 近隣への用事は、徒歩か自転車で行く	2	2	2	8	0	1	15
⑯ できるだけ自家用車よりバスや電車等の公共交通期間を利用する	13	4	5	27	1	4	54
⑰ 宅配便の受け取りは1回で受け取る、又はコンビニ等で受け取っている	17	3	2	7	2	12	43
⑱ エコマーク等の環境ラベル付きの商品を購入する	8	7	12	5	12	14	58
⑲ 買い物の際はエコバックを持参する	9	3	3	2	6	2	25
合計	95(16.3%)	88(15.1%)	52(8.9%)	245(42.0%)	38(6.5%)	66(11.3%)	584

結果

省エネルギー・地球温暖化防止に取り組めない理由として多かった回答は、生活の快適さが損なわれる(42.0%)、手間がかかる(16.3%)、コストがかかる(15.1%)であった。

- ・ 「生活の快適さが損なわれる」と回答が多かった項目として、「冬の暖房使用時の室温は20℃を目安にしている(64)」、「夏の冷房使用時の室温は28℃を目安にしている(62)」、「できるだけ自家用車よりバスや電車等の公共交通期間を利用する(27)」であった。
- ・ 「手間がかかる」と回答が多かった項目として、「宅配便の受け取りは1回で受け取る、又はコンビニ等で受け取っている(17)」、「できるだけ自家用車よりバスや電車等の公共交通期間を利用する(13)」であった。
- ・ 「コストがかかる」と回答が多かった項目として、「節水型シャワーヘッドを使用している(26)」と「省エネ型の電球(LED等)に取り替えている(14)」であった。

図5 意識調査の回答数と「省エネを実践している」と回答した事業者の割合(年度別)
【本編22ページ】

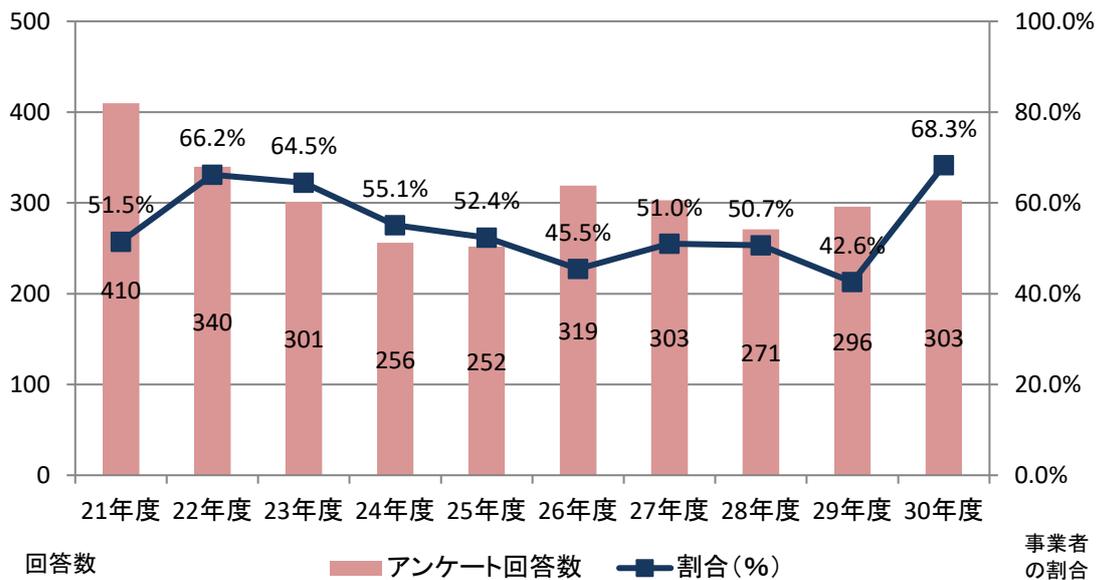
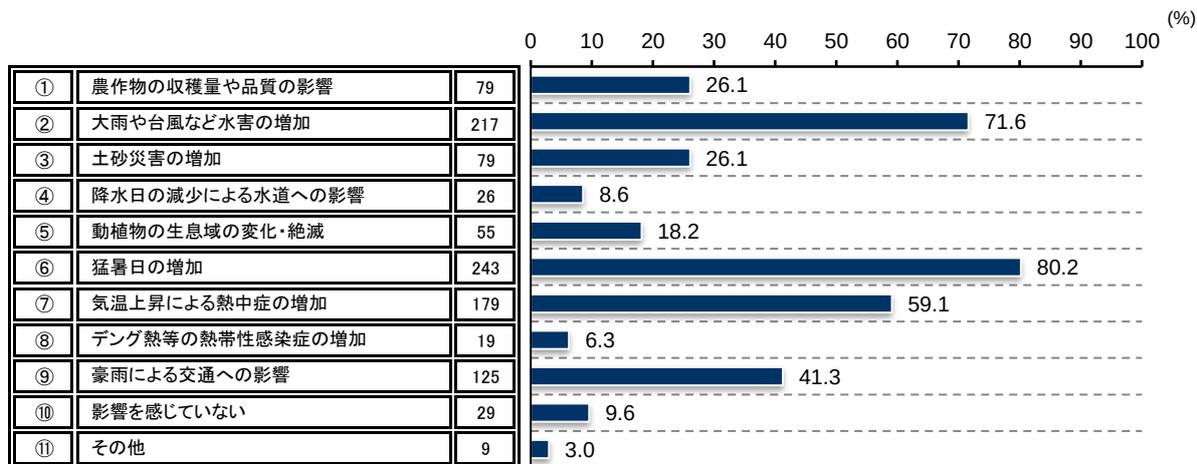


図6 気候変動への影響(事業者アンケート結果より抜粋)【本編22ページ】

貴事業所周りでどのような地球温暖化の影響を感じますか。
当てはまるもの全てを選び番号を○で囲んでください。(複数選択可)(n=303)

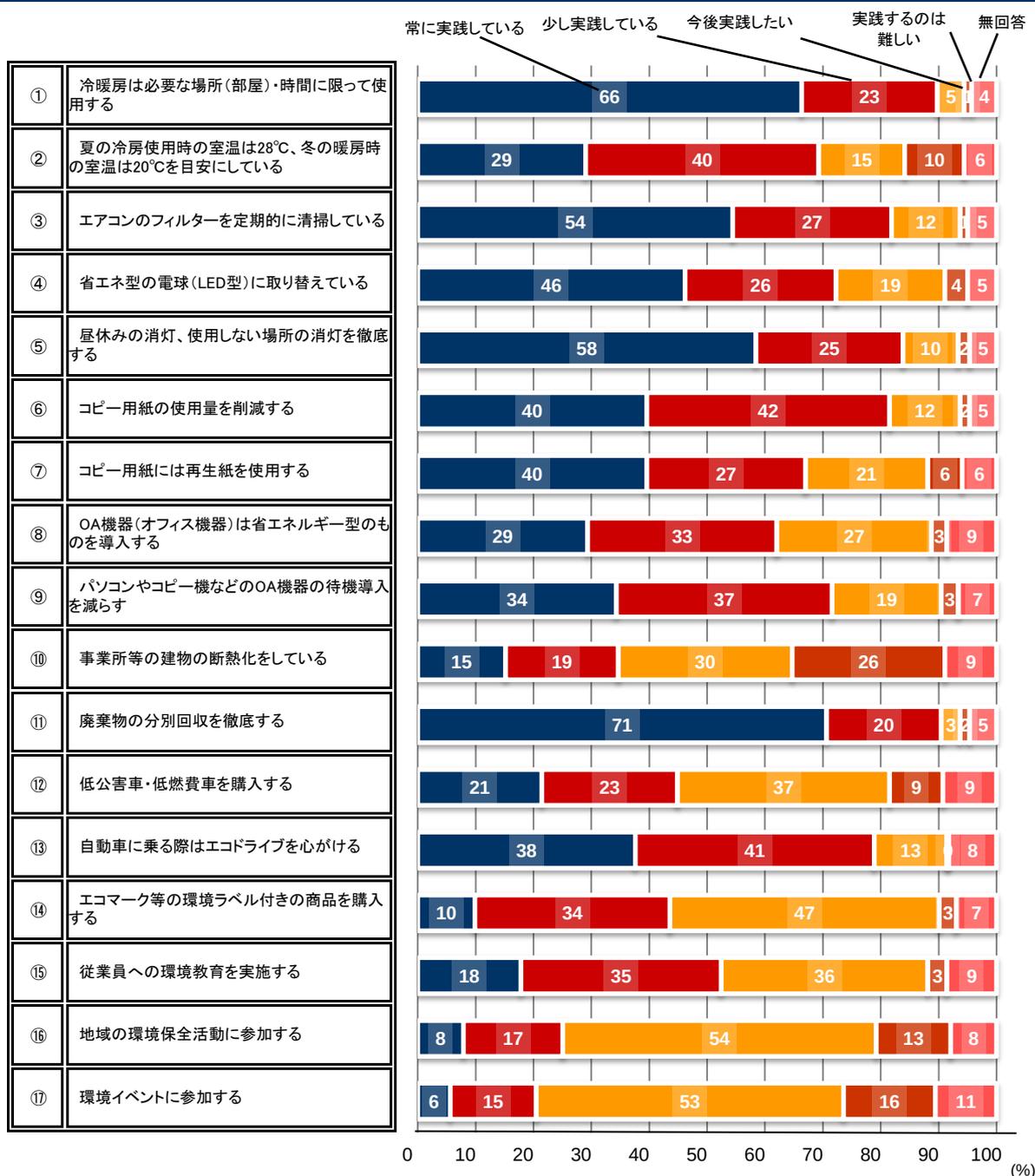


(その他の一部を紹介します)

- ・ 海水温の上昇

図7 事業所内での省エネに取り組み(事業者アンケート結果より抜粋)【本編22ページ】

貴事業所内での省エネルギー・地球温暖化防止のための取り組み状況について、最も近い番号を1つ選び○で囲んでください。なお、当てはまらない取り組み内容は、記入不要です。(単一選択)(n=303)



結果

「常に実践している」「少し実践している」の回答が多かった項目は、「廃棄物の分別回収を徹底する(90.4%)」、「冷暖房は必要な場所(部屋)・時間に限って使用する(89.8%)」、「昼休みの消灯、使用しない場所の消灯を徹底する(83.8%)」、「エアコンのフィルターを定期的に清掃している(81.8%)」、「コピー用紙の使用量を削減する(81.5%)」であった。

「常に実践している」「少し実践している」の回答が少なかった項目は、「環境イベントに参加する(20.5%)」、「地域の環境保全活動に参加する(25.1%)」、「事業所等の建物の断熱化をしている(34.7%)」、「エコマーク等の環境ラベル付きの商品を購入する(43.6%)」、「低公害車・低燃費車を購入する(34.7%)」であった。

図8 省エネに取り組むのが難しい理由(事業者アンケート結果より抜粋)【本編22ページ】

貴事業所内での省エネルギー・地球温暖化防止のための取り組み状況について、最も近い番号を1つ選び○で囲んでください。なお、当てはまらない取り組み内容は、記入不要です。(単一選択)(n=303)

項目	手間がかかる	コストがかかる	人材が不足している	省エネ効果が分からない	事業活動に影響を及ぼすため	自社物件ではなため	特に理由はない	回答数
① 冷暖房は必要な場所(部屋)・時間に限って使用する	0	3	0	0	3	1	0	7
② 夏の冷房使用時の室温は28℃、冬の暖房時の室温は20℃を目安にしている	0	3	0	2	25	1	1	32
③ エアコンのフィルターを定期的に清掃している	4	0	0	0	1	2	0	7
④ 省エネ型の電球(LED型)に取り替えている	3	5	0	0	0	6	0	14
⑤ 昼休みの消灯、使用しない場所の消灯を徹底する	4	1	0	0	4	1	2	12
⑥ コピー用紙の使用量を削減する	2	2	0	0	4	0	0	8
⑦ コピー用紙には再生紙を使用する	3	4	2	1	7	0	0	17
⑧ OA機器(オフィス機器)は省エネルギー型のを導入する	3	5	0	0	0	0	0	8
⑨ パソコンやコピー機などのOA機器の待機電力を減らす	4	1	3	3	3	0	0	14
⑩ 事業所等の建物の断熱化をしている	1	29	3	0	2	34	3	72
⑪ 廃棄物の分別回収を徹底する	3	1	1	0	0	1	0	6
⑫ 低公害車・低燃費車を購入する	0	19	3	1	1	3	2	29
⑬ 自動車に乗る際はエコドライブを心がける	2	1	0	0	0	0	1	4
⑭ エコマーク等の環境ラベル付きの商品を購入する	4	1	1	4	0	0	1	11
⑮ 従業員への環境教育を実施する	5	1	7	0	0	0	0	13
⑯ 地域の環境保全活動に参加する	6	1	25	0	3	0	2	37
⑰ 環境イベントに参加する	9	2	27	0	7	0	4	49
合計	53(15.6%)	79(23.2%)	72(21.2%)	11(3.2%)	60(17.6%)	49(14.4%)	16(4.7%)	340

結果

省エネルギー・地球温暖化防止に取り組めない理由として多かった回答は、コストがかかる(23.2%)、人材が不足している(21.2%)、事業活動に影響を及ぼすため(17.6%)であった。

- ・ 「コストがかかる」と回答が多かった項目として、「事業所等の建物の断熱化をしている(29)」、「低公害車・低燃費車を購入する(19)」であった。
- ・ 「人材が不足している」と回答が多かった項目として、「環境イベントに参加する(27)」、「地域の環境保全活動に参加する(25)」であった。
- ・ 「事業活動に影響を及ぼすため」と回答が多かった項目として、「夏の冷房使用時の室温は28℃、冬の暖房時の室温は20℃を目安にしている(25)」であった。

図9-1 エコネットについての意見(事業者アンケート結果より抜粋)【本編23ページ】

市では地球温暖化対策に関するホームページ「ちがさきエコネット」を開設しており、登録して事業活動の中で省エネに取り組んでいただける会員様「エコ事業者」を募集しています(参加費はかかりません)が、このホームページをご存知ですか。(単一選択)(n=303)

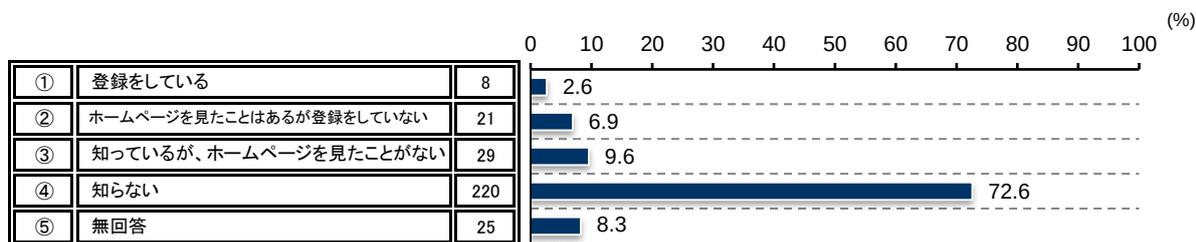


図9-2 エコネットについての意見(事業者アンケート結果より抜粋)【本編23ページ】

「ちがさきエコネット」を何でお知りになりましたか。(複数選択可)(n=63)

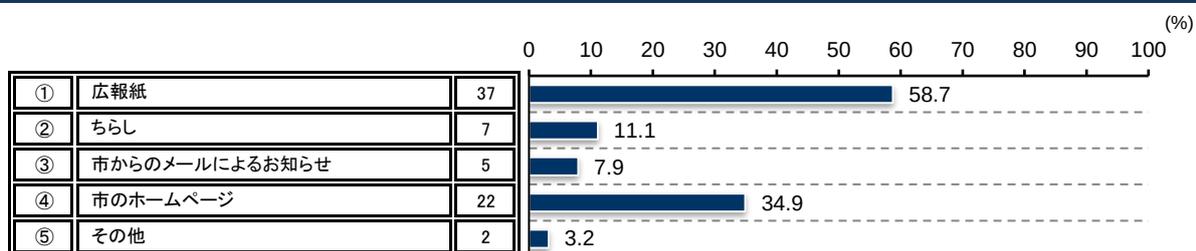


図9-3 エコネットについての意見(事業者アンケート結果より抜粋)【本編24ページ】

「ホームページを見たことはあるが登録をしていない」「知っているが、ホームページを見たことがない」とお答えいただいた方は、「登録をしていない理由」又は「ホームページを見なかった理由」をご自由に記入してください。(n=21)

(ご意見を紹介します)

- 登録したことで省エネに繋がらない、メリット・必要性を感じない(5)
- グループ企業、小さい店舗のため、企業としては参加できないため(5)
- 時間がない(3)
- 知らない(3)
- 忘れていた(2)
- 理由はない(2)
- 効率的ではない

図10-1 意識調査における市民の省エネルギー機器等の設置状況(市民アンケート結果より抜粋)【本編26ページ】

平成30年1月から平成30年12月までに自宅に省エネルギー機器又は設備を導入しましたか。当てはまる番号を1つ選び○で囲んでください。(単一選択)(n=720)

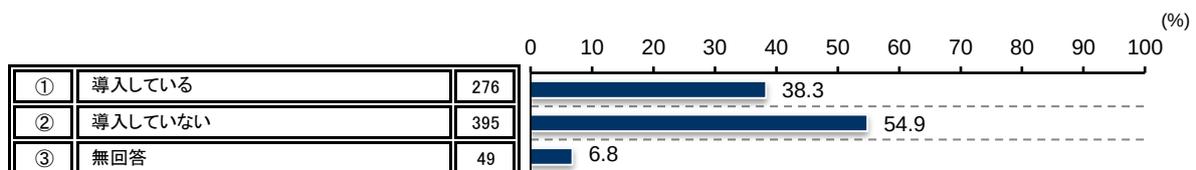


図10-2 意識調査における事業者の省エネルギー機器等の設置状況(事業者アンケート結果より抜粋)【本編26ページ】

平成30年1月から平成30年12月までに貴事業所に省エネルギー機器又は設備を導入しましたか。当てはまる番号を1つ選び○で囲んでください。(単一選択)(n=303)

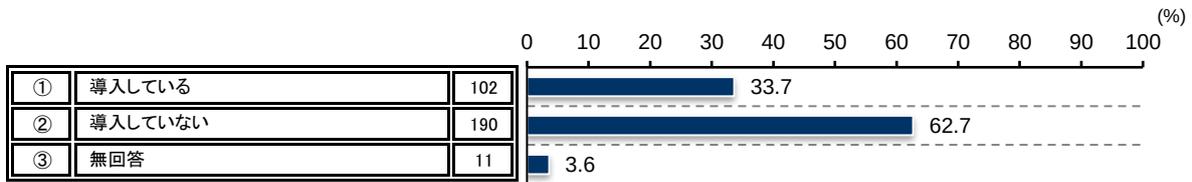
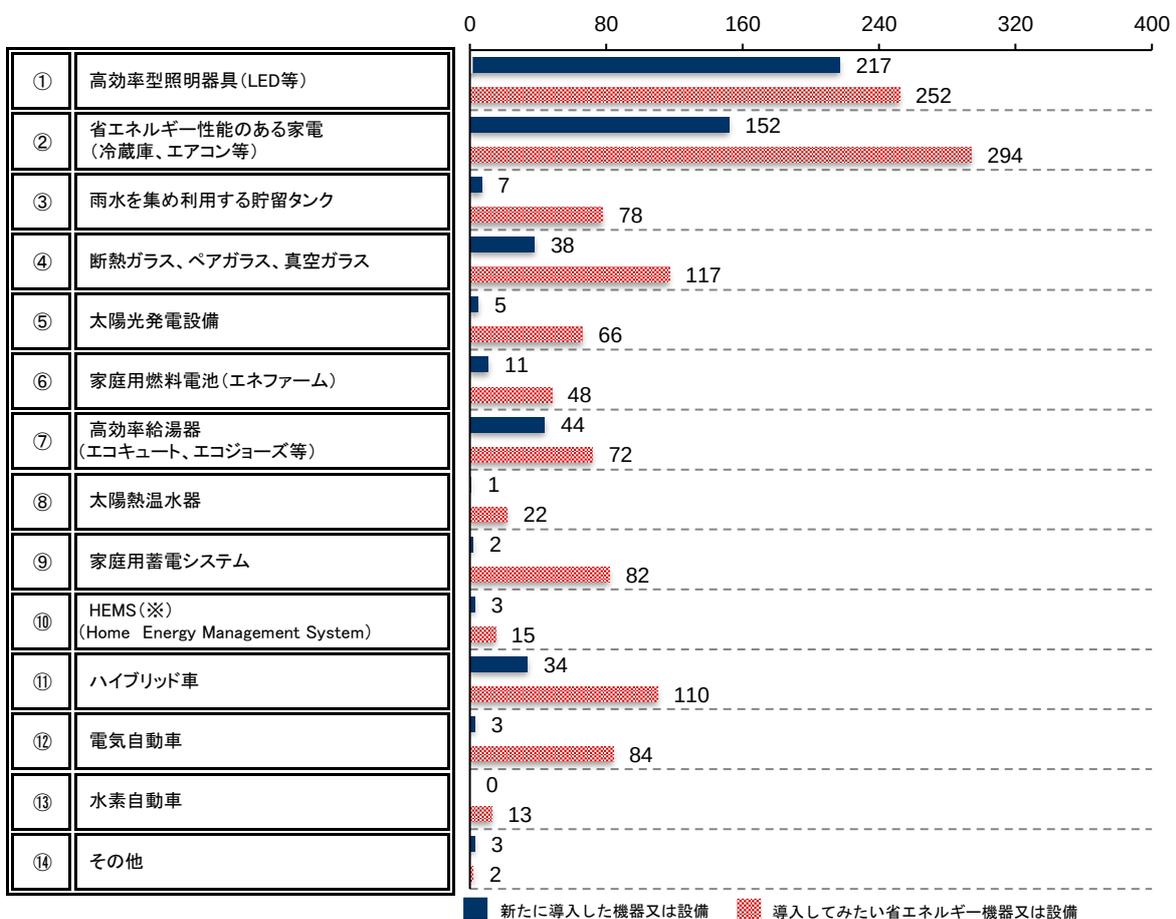


図10-3 意識調査における市民の省エネルギー機器等の設置状況(市民アンケート結果より抜粋)【本編26ページ】

新たに導入した機器又は設備は何ですか。(複数選択可)(n=286)

これから導入してみたい省エネルギー機器又は設備は何ですか。(複数選択可)(n=587)



(その他の一部を紹介します)

新たに導入した機器又は設備

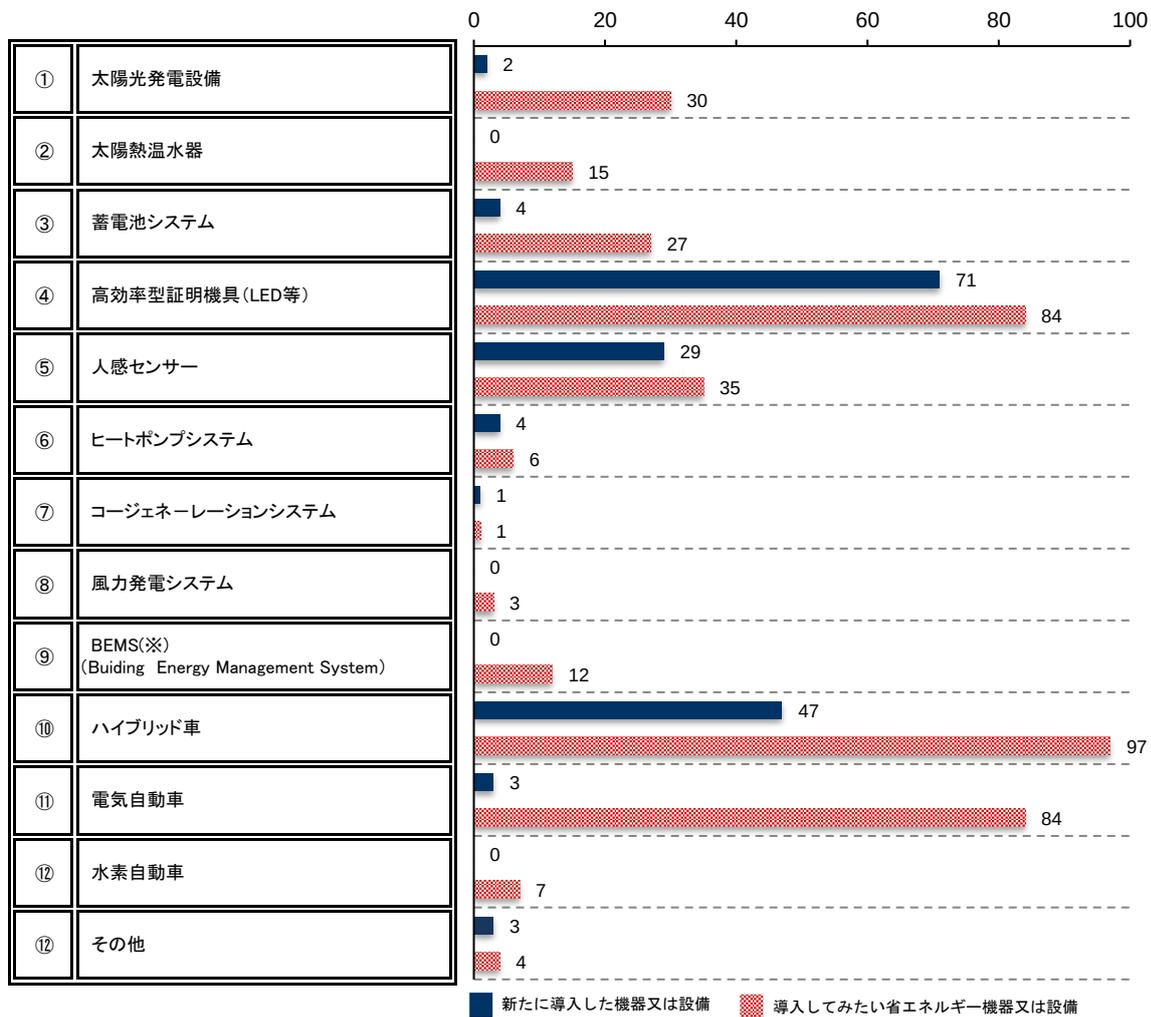
・ 電動自転車

結果

- 新たに導入した機器又は設備として、回答が多かった項目は「高効率型照明器具(LED等)(217)」、「省エネルギー性能のある家電(冷蔵庫、エアコン等)(152)」、「高効率給湯器(エコキュート、エコジョーズ等)(44)」であった。
- 新たに導入した機器又は設備として、回答が少なかった項目は「水素自動車(0)」、「太陽熱温水器(1)」、「家庭用蓄電システム(2)」、「HEMS(3)」及び「電気自動車(3)」であった。
- これから導入してみたい省エネルギー機器又は設備として、回答が多かった項目は「省エネルギー性能のある家電(冷蔵庫、エアコン等)(294)」、「高効率型照明器具(LED等)(252)」、「断熱ガラス、ペアガラス、真空ガラス(117)」であった。
- これから導入してみたい省エネルギー機器又は設備として、回答が少なかった項目は「水素自動車(13)」、「HEMS(15)」、「太陽熱温水器(22)」であった。

図10-4 意識調査における市民の省エネルギー機器等の設置状況(事業者アンケート結果より抜粋)
【本編26ページ】

新たに導入した機器又は設備は何ですか。(複数選択可)(n=104)
これから導入してみたい省エネルギー機器又は設備は何ですか。(複数選択可)(n=257)



(その他の一部を紹介します)

新たに導入した機器又は設備

これから導入してみたい省エネルギー機器又は設備

- 断熱材の追加施工

- アップルゲートセルローズ断熱及び樹脂サッシ

結果

- 新たに導入した機器又は設備として、回答が多かった項目は「高効率型照明器具(LED等)(71)」、「ハイブリッド車(47)」、「人感センサー(29)」であった。
- 新たに導入した機器又は設備として、回答がなかった項目は「太陽熱温水器(0)」、「風力発電システム(0)」、「BEMS(0)」、「水素自動車(0)」であった。
- これから導入してみたい省エネルギー機器又は設備として、回答が多かった項目は「ハイブリッド車(97)」、「電気自動車(84)」、「高効率型照明器具(LED等)(84)」であった。
- これから導入してみたい省エネルギー機器又は設備として、回答が少なかった項目は「コージェネレーションシステム(1)」、「風力発電システム(3)」、「ヒートポンプシステム(6)」であった。

表2 太陽光発電設備普及啓発基金の積立状況【本編27ページ】

(単位:円)

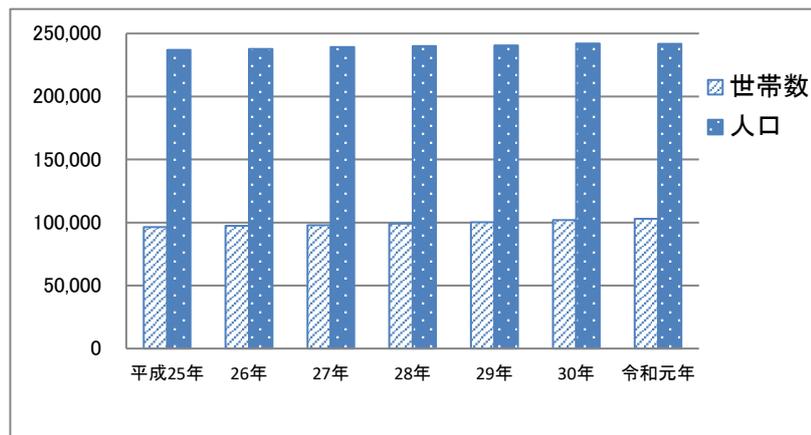
年度	サポートセンター 売電収入	こどもセンター 売電収入	寄附金	マッチングギフト (※)	利子	合計
30	276,144	287,184	1,303,230	1,866,558	1,638	3,734,754
29	249,264	279,072	196,832	725,168	8,081	1,458,417
28	245,712	234,720	187,107	667,539	7,010	1,342,088
27	278,208	289,440	153,365	721,013	995	1,443,021
26	285,936	298,896	5,000	589,832	8,285	1,187,949
25	282,048	312,720	6,600	601,368	467	1,203,203
24	237,552	278,832	10,500	526,884	151	1,053,919
23	247,344	257,424	0	0	0	504,768
合計	2,102,208	2,238,288	1,862,634	5,698,362	26,627	11,928,119

表3 行政の取り組み(事務事業編)におけるエネルギー使用量の推移【本編41ページ】

電気使用量 (kWh)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	構成 比	基準 年度比 増減量	基準 年度比 増減率	前年度比 増減量	前年度比 増減率
総計	22,565,796	18,928,807	19,840,317	20,318,994	20,123,254	20,798,448	22,820,533	24,821,383	21,508,767	100%	-1,057,029	-5%	-3,312,616	-13%
市長部局総計	16,667,073	13,964,662	14,386,793	14,737,029	14,472,164	15,108,463	16,958,946	18,752,749	15,253,466	71%	-1,413,607	-8%	-3,499,283	-19%
庁舎	2,556,240	1,981,776	1,997,712	2,061,144	2,019,098	2,176,292	2,546,337	2,415,308	2,209,726	10%	-346,514	-14%	-205,582	-9%
市立病院	6,134,488	5,185,752	5,064,239	4,999,682	5,063,142	5,162,830	5,462,958	5,280,883	5,289,104	25%	-845,384	-14%	8,221	0%
消防施設	600,310	498,178	479,148	479,314	468,824	470,500	324,370	395,926	356,960	2%	-243,350	-41%	-38,966	-10%
ごみ処理施設	696,385	554,466	596,553	896,933	559,505	905,783	1,871,213	4,546,832	543,256	3%	-153,129	-22%	-4,003,576	-88%
その他施設	6,679,650	5,744,490	6,249,141	6,299,956	6,361,595	6,393,058	6,754,068	6,113,800	6,854,420	32%	174,770	3%	740,620	12%
教育委員会総計	5,898,723	4,964,145	5,453,524	5,581,965	5,651,090	5,689,985	5,861,587	6,068,634	6,255,301	29%	356,578	6%	186,667	3%
小中学校	4,846,570	4,100,677	4,516,843	4,665,410	4,760,013	4,842,454	5,015,354	5,229,585	5,480,374	25%	633,804	13%	250,789	5%
その他教育施設	1,052,153	863,468	936,681	916,555	891,077	847,531	846,233	839,049	774,927	4%	-277,226	-26%	-64,122	-8%
都市ガス使用量 (m ³)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	構成 比	基準 年度比 増減量	基準 年度比 増減率	前年度比 増減量	前年度比 増減率
総計	1,122,472	1,099,620	1,089,775	1,067,093	971,498	1,081,514	1,090,758	1,097,935	1,109,403	100%	-13,069	-1%	11,468	1%
市長部局総計	964,970	960,058	947,133	927,065	902,670	953,169	956,713	952,075	976,042	88%	11,072	1%	23,967	3%
庁舎	8,920	8,473	8,340	7,675	6,764	26,301	53,568	46,180	77,406	7%	68,486	768%	31,226	68%
市立病院	761,606	758,063	737,391	711,535	689,384	692,519	685,850	687,210	697,011	63%	-64,595	-8%	9,801	1%
消防施設	4,748	4,978	5,281	4,855	5,074	5,025	5,011	4,568	4,425	0%	-323	-7%	-143	-3%
ごみ処理施設	39,667	47,293	50,695	46,442	40,385	47,421	69,070	62,124	58,839	5%	19,172	48%	-3,285	-5%
その他施設	150,029	141,251	145,426	156,558	161,063	181,903	143,214	151,993	138,361	12%	-11,668	-8%	-13,632	-9%
教育委員会総計	157,502	139,562	142,642	140,028	68,828	128,345	134,045	145,860	133,361	12%	-24,141	-15%	-12,499	-9%
小中学校	98,174	89,660	90,014	89,892	24,070	86,352	85,066	92,187	83,726	8%	-14,448	-15%	-8,461	-9%
その他教育施設	59,328	49,902	52,628	50,136	44,758	41,993	48,979	53,673	49,635	4%	-9,693	-16%	-4,038	-8%
LPG使用量 (m ³)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	構成 比	基準 年度比 増減量	基準 年度比 増減率	前年度比 増減量	前年度比 増減率
総計	72,223	68,020	74,075	70,672	74,766	69,689	72,830	73,370	70,014	100%	-2,209	-3%	-3,356	-5%
市長部局総計	8,769	8,289	10,784	9,927	10,591	8,862	12,912	9,169	8,452	12%	-317	-4%	-717	-8%
庁舎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%	0	0%
市立病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%	0	0%
消防施設	3,108	3,091	3,313	3,423	3,371	3,266	3,268	3,274	2,471	4%	-637	-20%	-803	-25%
ごみ処理施設	113	103	110	1,138	107	109	107	110	111	0%	-2	-2%	1	1%
その他施設	5,548	5,095	7,361	5,366	7,113	5,487	9,537	5,785	5,870	8%	322	6%	85	1%
教育委員会総計	63,454	59,731	63,291	60,745	64,175	60,826	59,918	64,201	61,562	88%	-1,892	-3%	-2,639	-4%
小中学校	61,476	57,707	61,253	58,670	62,193	59,063	58,372	63,005	60,349	86%	-1,127	-2%	-2,656	-4%
その他教育施設	1,978	2,024	2,038	2,075	1,982	1,763	1,546	1,196	1,213	2%	-765	-39%	17	1%

図10-5 人口と世帯の推移(国勢調査に基づく)(茅ヶ崎市統計年報より抜粋)

区分	世帯	人口
平成25年	96,399	237,065
26年	97,479	237,826
27年	97,951	239,348
28年	99,112	240,046
29年	100,278	240,618
30年	101,862	242,003
令和元年	102,867	241,887



(2) 用語集

【あ行】

CNG(圧縮天然ガス)

《Compressed Natural Gas》

自動車燃料として使用するため最高圧力 20MPa に加圧された天然ガス。石油系燃料と比べて CO₂ の排出量が比較的少なくクリーンなエネルギーです。

生け垣の築造への助成

生け垣の築造に対する工事費の一部を助成する制度のことです。

(条件)①常緑樹で 60cm 以上②1m につき 3 本を植え込む③連続植え込みが 2m 以上④フェンスを併設する場合の透過率 70%以上

エコ事業者

茅ヶ崎市地球温暖化対策ポータルサイト「ちがさきエコネット」において、事業活動の中で環境に配慮した活動に積極的に取り組むことを宣言していただける事業者(事務所、工場、店舗、病院、学校など)のことです。

エコ事業者認定証

エコ事業者として認定した事業者に交付しているステッカータイプの認定証です。また、同じデザインのデータを「ちがさきエコネット」からダウンロードすることができ、事業者のホームページや名刺などに利用することができます。

エコひろば

「ちがさきエコネット」のコンテンツの一つ。

「ちがさきエコファミリー」「エコ事業者」同士が相互に情報を共有できるようにすることを目的として、自由に投稿できる電子掲示板のことです。

エコワット

家電製品につなぐだけで、家電製品の電気使用量、電気料金、二酸化炭素排出量を表示できる機器のこ

とです。

LED 照明

従来の電球に比べ電力使用量が少なく、寿命が長い照明のことです。白熱電球と比べると電力使用量は約 8 割削減、寿命は約 40 倍です。また、蛍光灯と比べると電力使用量は約 2 割削減、寿命は約 7 倍です。

援農ボランティア制度

農作物の栽培技術を習得しながら健康づくりをしたい方へ農業従事者の不足を感じている農家でのお手伝いを通じて余暇の充実を図る制度のことです。

温室効果ガス

赤外線を吸収する能力をもつ気体のこと。大気中存在すると温室効果をもたらすのでこの呼び名があります。温室効果ガスは地表面からの熱をいったん吸収し、熱の一部を地表面に下向きに放射します。日射に加えて、こうした放射による加熱があるため、地表面はより高い温度となり、温室効果をもたらされます。

温暖化対策推進協議会

地球温暖化対策の推進に関する法律の規定に基づく茅ヶ崎市地球温暖化対策実行計画の策定及び変更並びに当該計画に基づく施策の推進に関する事項につき市長の諮問に応じて調査審議し、その結果を答申し、又は建議する市の附属機関です。

【か行】

カーボンオフセット

人間の経済活動や生活などを通して「ある場所」で排出された二酸化炭素などの温室効果ガスを、植林・森林保護・クリーンエネルギー事業(排出権購入)による削減活動によって「他の場所」で直接的、間接的に吸収しようとする考え方や活動の総称です。

環境家計簿

「ちがさきエコネット」のコンテンツの一つ。
エコファミリーが電気、ガス、水道などの毎月の使用量や金額を入力するとグラフが作成されます。これにより毎月のエネルギー使用量や利用金額の確認や、前年度の使用状況との比較が容易にできるため、省エネの目標が立てやすくなります。

環境価値

電気そのものの価値に加え、二酸化炭素の排出を削減するという価値。太陽光や風力などの自然エネルギーによる電気は、電気そのものの価値に加え、CO2排出を削減するという「環境価値」を持っているとみなされます。

グリーンバンク制度

不要になった樹苗樹木を市が受け取り、堤樹木センターで公開し必要な方へ引き渡す制度のことで。

コージェネレーションシステム

発電とともに発生した排熱を利用して、冷暖房や給湯などの熱需要に利用するエネルギー供給システムのことで。総合熱効率の向上を図ることができます。

固定価格買取制度

再生可能エネルギーで発電した電気を電力会社が一定期間中は同じ価格で買い取ることを国が約束する制度のことで。平成 24 年 7 月から開始されました。

コンポスト

有機物を微生物の働きで分解させて堆肥にする処理方法、またはその堆肥のことで。有機物としては主に生ごみ、下水や浄化槽の汚泥、家畜の糞尿、農産物廃棄物などが使われます。

【さ行】

省エネナビ

家庭全体の電気使用量、電気料金、二酸化炭素排出量を表示する機器のことで。

省エネルギー・地球温暖化に関する意識調査

地球温暖化対策実行計画に基づく施策を効果的に実行するため、無作為に抽出した満 20 歳以上の市民の方 2,000 人及び市内の事業者 1,000 社を対象として、地球温暖化防止及び省エネルギーに関する取り組み状況を調査する目的で行うアンケートのことで。

湘南エコウェーブ

茅ヶ崎市、藤沢市、寒川町の 2 市 1 町が連携して環境活動に取り組むプロジェクトのことで。未来を担う子どもたちに湘南の豊かな環境を伝えようと地球温暖化防止を目的に様々な活動をしています。

スクールエコアクション

学校版環境マネジメントシステムのことで、学校において、児童・生徒等が環境に配慮した生活様式を習得できるように、学校自らの環境活動の方針や目標等を設定し、その達成を目指して継続的に活動に取り組んでいくシステムや取り組みのことで。

【た行】

太陽熱利用設備

太陽からの熱エネルギーを使って温水や温風を作り、給湯や冷暖房に利用するシステムのことで。

ちがさきエコネット

市民・事業者が地球温暖化対策に関する必要な情報を簡単に取り出し、相互に意見交換ができ、多くの市民・事業者の参加を促すことができる地球温暖化対策に関するポータルサイトのことで。

ちがさきエコファミリー

茅ヶ崎市地球温暖化対策ポータルサイト「ちがさきエコネット」において、環境にやさしい行動を心がけることを宣言し、節電・節水などの省エネルギーに取り組んでいただけるご家庭のことです。

茅ヶ崎おひさまクレジット

平成 25 年 4 月 1 日以降に茅ヶ崎市内に設置された住宅用太陽光発電システムによる CO₂削減量を「環境価値」として取りまとめ、国の地球温暖化対策「J-クレジット制度」を活用して得た収入を事業の参加者へ還元する事業です。

ちがさき環境フェア

環境フェアは、大人から子供まで楽しみながら未来の暮らしと地球環境のために自分のできる事が発見できるイベントです。

C-EMS(チームス)

茅ヶ崎市環境マネジメントシステム。全職員・全庁各所(施設)を対象とし、事業者としての本市の本計画に係る取り組み及び環境法令遵守に係る取り組みを進めるための仕組みのことです。

庁内イントラネット

職員が自由に閲覧できる庁内共通の電子掲示板のことです。

低炭素建築物新築等計画

建築物における生活や活動で発生する CO₂を抑えた建築物の計画を作成して、所管行政庁(茅ヶ崎市)に「低炭素建築物新築等計画(低炭素建築物)の認定」を申請することができます(市街化区域内に限る)。認定を受けるには、省エネ法に基づく省エネ基準に比べ一次エネルギー消費量が 10%以上低減されたものであること。また、断熱性能について省エネ法に基づく

省エネ基準に適合していること。さらに、水対策、エネルギーマネジメント、ヒートアイランド対策又は建築物(躯体)による対策等の低炭素化に資する措置を一定以上講じていること等の基準を満たしていることが必要です。認定を受けた低炭素建築物については、所得税住宅借入金特別控除優遇や容積率緩和等の対象となります。

【な行】

生ごみ処理機

手動式と電動式があり、微生物等により生ごみを堆肥に変えます。生ごみ処理容器より高価ですが、微生物の働きを活性化させるなどの機能が充実しています。

【は行】

HEMS(ヘムス)

《home energy management system》家庭のエネルギーを効率よくコントロールするシステム。電力の使用を効率化でき、節電や二酸化炭素削減に役立ちます。

BEMS(ベムス)

《building energy management system》省エネと快適性を実現させることを目的としたビル内の配電設備、空調設備、照明設備、換気設備、OA 機器等の電力使用量のモニターや制御を行うためのシステム。電力使用量を可視化し、適切に制御することが可能となり省エネを実現できます。

保存樹木

茅ヶ崎市みどりの保全等に関する条例第 16 条第 1 項に基づき、みどり豊かなまちづくりの推進に向けて、樹木の所有者に対し保全費の助成を行うものです。

(指定条件)

- ①地上 1.5m の高さにおける幹の周囲が 1.5m 以上であること。
- ②高さが 15m 以上であること。
- ③株立した樹木で幹周が 3m 以上であること。
- ④はん登性樹木で枝葉の面積が 30 m²以上であること。
- ⑤高さ 10m 以上ま

たは幹回り1m以上の3本以上の樹木の集団で、樹木の集団を形成する主たる樹木から直径5m以内の樹木であること。

保存樹林

茅ヶ崎市みどりの保全等に関する条例第16条第1項に基づき、みどり豊かなまちづくりの推進に向けて、樹林の所有者に対し保全費の助成を行うものです。

(指定条件)

①都市計画法(昭和43年法律第100号)第5条の規定による都市計画区域内に存し、かつ都市計画法第7条の規定による市街化区域内に存する樹林であること。②樹木が健全で、かつ、その集団の樹容が美観上特にすぐれている樹林であること。③樹林の面積が一体で300㎡以上であること。④茅ヶ崎市暴力団排除条例(平成23年茅ヶ崎市条例第5号)第2条第4号に規定する暴力団員等又は同条第5号に規定する暴力団経営支配法人等が所有していない樹林であること。

【ま行】

マッチングギフト

太陽光発電設備普及啓発基金への積立の際、売電収入及び寄附金の合計額と同じ額を市の資金から積立てることとしており、この資金のことを指します。

みどりのカーテン

「ゴーヤ」や「アサガオ」などのツル性の植物を、窓の外や壁面に張ったネットなどに這わせて、カーテンのように覆ったものを「緑のカーテン」といいます。自然の力を利用した夏場の省エネルギー対策です。